



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社高松コンストラクショングループ

上場取引所 東

コード番号 1762 URL <http://www.takamatsu-cg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 完二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画本部長 (氏名) 後藤 博

TEL 03-3455-8108

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	123,308	18.8	3,513	61.6	3,601	59.5	4,367	209.7
25年3月期第3四半期	103,812	8.7	2,174	△32.6	2,257	△44.4	1,410	△44.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,781百万円 (194.2%) 25年3月期第3四半期 1,625百万円 (△39.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	121.24	—
25年3月期第3四半期	38.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	143,847	93,101	54.9	2,192.52
25年3月期	141,231	92,142	53.2	2,087.52

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 78,972百万円 25年3月期 75,190百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	9.00	—	14.00	23.00
26年3月期	—	11.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

25年3月期期末配当金の内訳 特別配当5円00銭

26年3月期期末配当金の内訳 特別配当2円00銭

配当予想の修正については、本日(平成26年2月12日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	177,000	18.0	6,300	33.6	6,300	29.9	6,000	106.0	166.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年2月12日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	38,880,000 株	25年3月期	38,880,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,860,913 株	25年3月期	2,860,857 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	36,019,131 株	25年3月期3Q	36,264,596 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビューの対象外であります。  
なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
4. 補足情報 .....	7
連結受注高、連結売上高の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和策を背景に円安・株高が進み、また、雇用情勢や所得環境が改善するなかで個人消費も増加し、景気は緩やかに回復してまいりました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移し、民間投資も好調な企業収益に支えられ持ち直しているものの、技術者・技能労働者の不足、資材価格の高止まり等、損益面において予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況のなかで、当社は「グループ力の発揮」のため「スピードをあげ基盤をつくる」ことを当期の最重要課題とし、中核子会社である高松建設㈱グループは「選別と集中」による「開発営業の徹底とさらなる強化」および「コスト競争力の向上」を、青木あすなろ建設㈱グループは「将来に向けての戦略的施策」と「営業戦略・戦術の再構築」を推進しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は140,632百万円（前年同期比17.3%増）、売上高は123,308百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

利益につきましては、営業利益は3,513百万円（前年同期比61.6%増）、経常利益は3,601百万円（前年同期比59.5%増）となり、四半期純利益は、第2四半期に連結子会社の青木あすなろ建設㈱が株式交換により青木マリン㈱を完全子会社化したこと、また、青木あすなろ建設㈱のA種株式の一部を普通株式に転換したこと等により、持分変動利益326百万円および負ののれん発生益2,061百万円を計上したため、4,367百万円（前年同期比209.7%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

#### (建築事業)

売上高は57,055百万円（前年同期比28.5%増）となり、セグメント利益は2,835百万円（前年同期比88.6%増）となりました。

#### (土木事業)

売上高は60,428百万円（前年同期比14.6%増）となり、セグメント利益は1,363百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

#### (不動産事業)

売上高は5,823百万円（前年同期比12.8%減）となり、セグメント利益は684百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,615百万円増加し、143,847百万円となりました。

その主な要因は、現金預金が5,668百万円、不動産事業支出金が1,065百万円増加した一方、受取手形・完成工事未収入金等が売上債権の回収により4,618百万円減少したこと等によるものであります。

#### (負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,657百万円増加し、50,746百万円となりました。

その主な要因は、未成工事受入金が3,105百万円増加した一方、工事未払金が736百万円、未払法人税等が746百万円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ958百万円増加し、93,101百万円となりました。

その主な要因は、四半期純利益4,367百万円の計上および配当金の支払900百万円の結果、株主資本が3,466百万円増加した一方、少数株主持分が2,823百万円減少したこと等によるものであります。

なお、純資産の額から少数株主持分を控除した自己資本の額は78,972百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント上昇し54.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、受注、工事施工ともに順調に推移しており、売上高、利益ともに前回予想数値を上回る見込みとなったため、2013年8月6日に公表した通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2014年2月12日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	56,852	62,520
受取手形・完成工事未収入金等	46,652	42,034
販売用不動産	2,740	2,626
未成工事支出金	1,242	1,269
不動産事業支出金	1,638	2,703
繰延税金資産	673	554
その他	6,531	6,948
貸倒引当金	△174	△214
流動資産合計	116,157	118,443
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	2,990	2,889
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	570	599
船舶(純額)	1,361	1,232
土地	9,377	9,378
リース資産(純額)	97	85
有形固定資産合計	14,397	14,185
無形固定資産	213	230
投資その他の資産		
投資有価証券	5,745	6,250
投資不動産(純額)	207	199
繰延税金資産	1,276	1,268
その他	4,275	4,153
貸倒引当金	△1,042	△883
投資その他の資産合計	10,463	10,988
固定資産合計	25,074	25,404
資産合計	141,231	143,847

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	22,394	21,658
未払法人税等	1,494	748
未成工事受入金	7,254	10,359
賞与引当金	1,517	822
完成工事補償引当金	652	672
工事損失引当金	67	0
その他	3,987	4,439
流動負債合計	37,368	38,701
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	373	373
退職給付引当金	9,204	9,333
船舶特別修繕引当金	69	79
その他	2,072	2,258
固定負債合計	11,720	12,045
負債合計	49,089	50,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	272	272
利益剰余金	75,428	78,895
自己株式	△4,296	△4,296
株主資本合計	76,404	79,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443	758
土地再評価差額金	△1,657	△1,657
その他の包括利益累計額合計	△1,213	△898
少数株主持分	16,952	14,128
純資産合計	92,142	93,101
負債純資産合計	141,231	143,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
売上高		
完成工事高	97,134	117,484
不動産事業売上高	6,677	5,823
売上高合計	103,812	123,308
売上原価		
完成工事原価	86,634	105,014
不動産事業売上原価	5,713	5,041
売上原価合計	92,348	110,055
売上総利益		
完成工事総利益	10,499	12,469
不動産事業総利益	964	782
売上総利益合計	11,464	13,252
販売費及び一般管理費	9,289	9,738
営業利益	2,174	3,513
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	97	129
その他	96	59
営業外収益合計	196	194
営業外費用		
支払利息	108	100
その他	5	4
営業外費用合計	113	105
経常利益	2,257	3,601
特別利益		
投資不動産売却益	13	—
負ののれん発生益	374	2,061
持分変動利益	—	326
その他	82	23
特別利益合計	470	2,411
特別損失		
固定資産売却損	0	7
投資有価証券評価損	182	—
訴訟関連損失	20	6
株式交換関連費用	—	7
その他	5	8
特別損失合計	209	30
税金等調整前四半期純利益	2,518	5,982
法人税、住民税及び事業税	879	1,442
法人税等調整額	254	85
法人税等合計	1,134	1,528
少数株主損益調整前四半期純利益	1,383	4,453
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△26	86
四半期純利益	1,410	4,367

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,383	4,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	241	327
その他の包括利益合計	241	327
四半期包括利益	1,625	4,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,606	4,682
少数株主に係る四半期包括利益	18	98



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

連結受注高、連結売上高の状況

区分	前第3四半期累計 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)		当第3四半期累計 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)		増減		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	
受注高	建築事業	56,379	47.0	74,749	53.2	18,370	32.6
	土木事業	56,848	47.4	60,058	42.7	3,210	5.6
	建設事業計	113,228	94.4	134,808	95.9	21,580	19.1
	不動産事業	6,677	5.6	5,823	4.1	△854	△12.8
	合計	119,906	100.0	140,632	100.0	20,726	17.3
売上高	建築事業	44,408	42.8	57,055	46.3	12,646	28.5
	土木事業	52,725	50.8	60,428	49.0	7,702	14.6
	建設事業計	97,134	93.6	117,484	95.3	20,349	20.9
	不動産事業	6,677	6.4	5,823	4.7	△854	△12.8
	合計	103,812	100.0	123,308	100.0	19,495	18.8